

ママチャリグランプリ 2020 開催要項

- 1 趣 旨 自転車の町・紫波町を広く県内にアピールし、自転車を安全、快適に活用することによる自然環境への配慮と健康づくりについての意識高揚を図るとともに、自転車競技への理解と普及を図る。
- 2 主 催 一般財団法人紫波町体育協会
- 3 後 援 紫波町教育委員会、公益財団法人岩手県体育協会
- 4 協 力 総合型地域スポーツクラブ紫波ウイング、紫波総合高等学校自転車競技部
- 5 期 日 令和2年9月12日(土)
 8:30~8:50 受付
 9:00 開会式
 9:15~9:30 試走
 9:45~ 競技開始(下記種別の若い数字の順にスタート)
 12:30 閉会式
- ※雨天の場合は中止として、ホームページ (www.gymna-shiwa.jp) に掲載します。
- 6 会 場 紫波運動公園内特設コース
- 7 内 容 約630mのコースでのタイムトライアル。1人ずつの時差スタートとして、1人3回計測してベストタイムを競う。
- 8 参加資格 小学生以上の医師に運動の制限をかけられていない健康な方。
- 9 種 別 (1)小学校低学年男子の部 (2)小学校低学年女子の部
 (3)小学校中学年男子の部 (4)小学校中学年女子の部
 (5)小学校高学年男子の部 (6)小学校高学年女子の部
 (7)中学生以上男子の部 (8)中学校以上女子の部
- 10 用 具 等 下記に記す自転車及び服装装備は参加者が用意すること。
 (1)使用自転車
 ①一般に市販されているシティサイクル(ママチャリ)・折りたたみ自転車とするが、小学生のみマウンテンバイクの使用を認める。
 ②事前に整備を行い、前後のブレーキが正しく作動すること。
 ③ペル、スタンド、錠前がついていること。
 ④変速機は3段切り替えまで(小学生の部を除く)として、変速機無しも使用可とする。
 ⑤電動アシスト付きの自転車は使用出来ない。
 (2)服装装備
 ①あごひも付きヘルメット、グローブ(軍手・手袋可)を必ず着用すること。
 ②転倒した場合を考慮して、膝・肘サポーターを装着することが望ましい。
 ③サンダル、裸足での走行を禁止する。

裏へ

き り と り

ママチャリグランプリ 2020 参加申込書

ふりがな		性別	年齢/学年	学校名
氏名		男・女	オ/年	
住所		連絡先		
参加種別	の部	保護者名 (未成年の場合)		

※事務局記入欄

受付No.	受領印

- 11 定 員 100名 ※申込総数が定員になり次第締め切ります。
- 12 参 加 料 1人1,000円
※原則申込時に納入することとする（遠方の方は下記問合先にご相談ください）。
- 13 申込期限 令和2年9月3日(木)
- 14 申込・問合先 申込用紙に必要事項を記入のうえ、参加料を添えて下記まで申し込むこと。
(一財)紫波町体育協会（紫波町総合体育館内） 紫波町桜町字下川原 100
電話 (019) 676-2650 / FAX(019)676-2574 / E-mail : taikyou@gymna-shiwa.jp
- 15 注意事項 (1)試走はコースを確認することを目的として行い、スピードを控え、他の選手を追い越す場合はベルを鳴らすか声を掛けて安全には十分に留意すること。
(2)レース中に他の選手の転倒や接触の恐れがあり、主催者が安全を確保出来ないと判断した場合はレースを中断して再スタートとする。
(3)3回の計測を行い、ベストタイムを競うが、当該選手の申し出により走行回数を減らすことが出来る。
(4)使用自転車に違反があった場合は失格とする。
(5)ウォーミングアップ会場として陸上競技場アスファルト部分を開放するが、それ以外での自転車を使用したウォーミングアップを禁止する。
(6)観戦者はコース上での観戦は出来ない。また、コースを横断する場合は、係員の指示に従うこと。
(7)小学校低学年の部のみ、保護者が併走し誘導することが出来る。その際はスタート前に申告すること。
(8)イベント中に天候等の理由により主催者が安全を確保出来ないと判断した際はイベントを中断または中止することがある。
(9)天候及び災害等によりイベントを中止した場合及び9月3日以降のキャンセルについて、参加料の返金は出来かねます。
(10)新型コロナウイルスの拡大感染により非常事態宣言が発令された場合は開催しません。その際の参加料は返金します。
(11)観戦者を含めて、他者と密接にならないように心がけ、手洗い・手指消毒にご協力願います。
- 16 そ の 他 (1)各種別とも、上位第3位まで表彰します。
(2)イベント中に起こったケガについて、応急処置をするほか主催者が加入する保険の補償範囲内とします。
(3)イベントの申込みに伴い知り得た個人の情報は主催者の規程に基づき慎重に取り扱います。また、氏名、年齢については、プログラム作成に使用するほか、マスコミ各社に情報を提供する場合があります。
(4)イベントの様子を撮影しますが肖像権は主催者に帰属し、広報活動に使用する場合があります。